

第2期みよし市教育振興基本計画
みよし教育プラン2035

概要版

ともに学び・育ち・つながり・創る 未来のみよし

令和8年3月
みよし市

1 みよし教育プラン 2035 の全体像

【目指す人間像】

生涯にわたって自らを磨き、
みんなとともに、心豊かな人生、時代、みよしを創る人

「生涯にわたって自らを磨き」

市民一人一人が自分のよさを磨き続けることで、輝き続ける市民となり、生きる喜びに満ち心身ともに幸せな人生を送ってほしいという願いが込められています。

「みんなとともに」

日本社会に根差した「Well-being」は個の幸せにとどまらず、まわりの人のもの、こととともにあるものであるという願いと、本市が目指す「共育」「協育」の意味が込められています。

「時代、みよし」

全世代のみよし市民が、心豊かに暮らし、これからの時代とみよしの創り手になってほしいという思いが込められています。

基本目標

基本理念、目指す人間像を実現するため、「こどもの育ち」、「市民の学び」、「こどもの育ちと市民の学びを支える家庭・地域の教育力の醸成」の3つに分け、「学校」「家庭」「地域」が手を取り合いながら、「共育・協育」を推進していきます。

基本目標 I

21世紀をたくましく生き抜く子を目指した、みんなが育つ共育・協育の推進
(こどもの育ち)

基本目標 II

地域との協働による、市民みんなが育つ学びの場づくりの推進
(市民の学び)

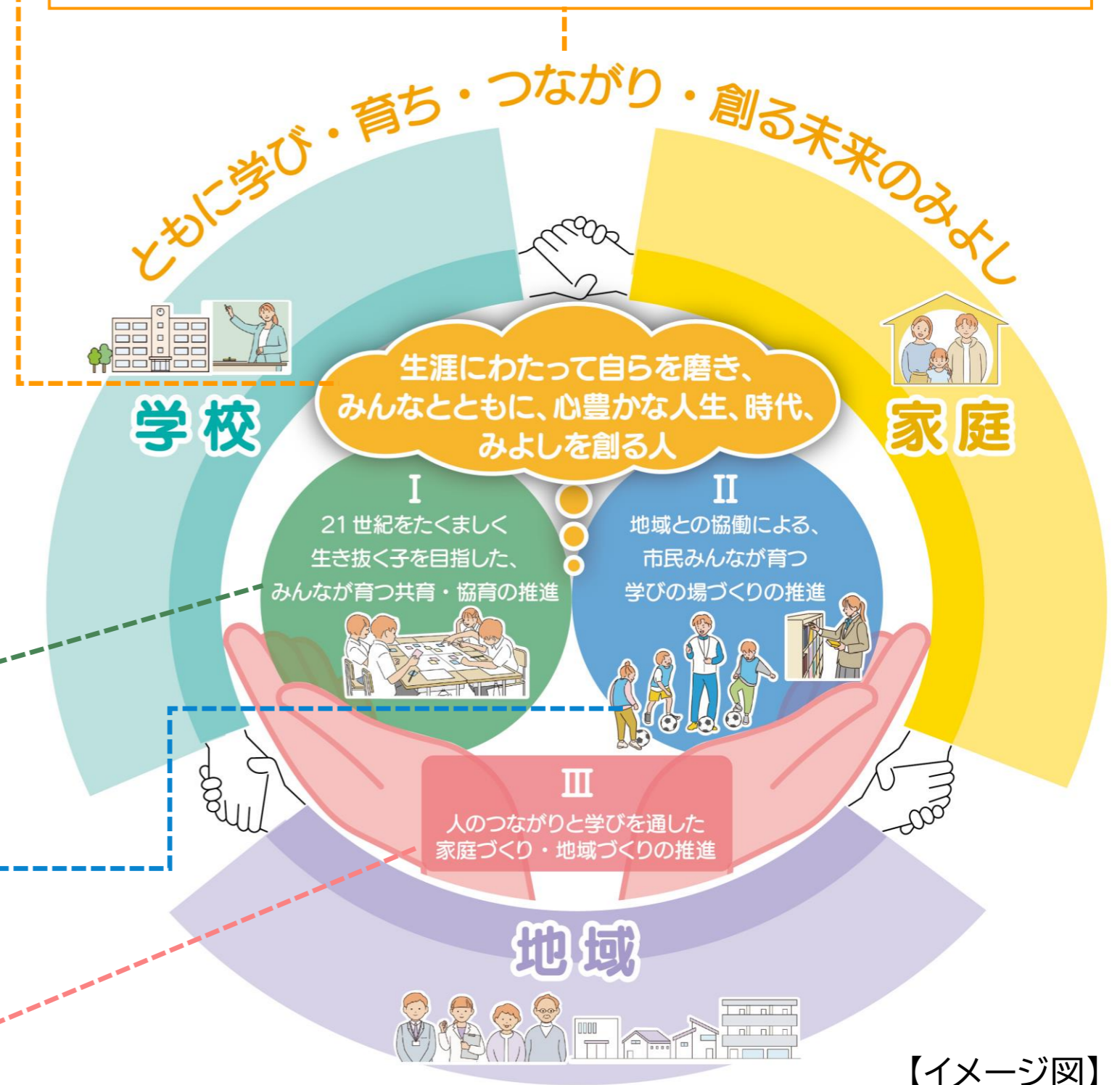
基本目標 III

人のつながりと学びを通じた家庭づくり・地域づくりの推進
(I、IIを支える家庭・地域の教育力の醸成)

【基本理念】

ともに学び・育ち・つながり・創る 未来のみよし

この基本理念には、学ぶこと、まわりとつながることで、自らを磨き、自分もまわりも地域とともに育ち、新たなみよしをみんなで創っていこうというメッセージを込めました。



【イメージ図】

2 施策体系図

基本目標Ⅰ

21世紀をたくましく生き抜く子を目指した、みんなが育つ共育・協育の推進

1. 楽しい・行きたくなる「魅力ある学校」づくりの推進

① こどもが伸びる・こどもが主役の学校教育の実現

- 重点 1** ア. 学ぶ楽しさを実感し生きる力を育む「みよしの授業」づくりを支援
イ. 主体性対話、実体験を重視した活動の推進
- 重点 2** ウ. こどもが主体となって持続可能な社会の担い手となる基礎を育む特別活動・キャリア教育の推進
エ. 外国語、理科、体育、情報教育の充実

② しなやかでたくましい心と体を育む教育

- 重点 3** ア. 自他を大切に、周囲と共に高め合う「みよしいやり教育」の推進
イ. 非認知能力、望ましい生活習慣を身に付ける取組の推進
ウ. 文化・芸術・自然等の体験の推進
エ. 学校図書館を活用した読書活動の推進
オ. こどもの体力向上の推進

③ 質の高い指導体制・環境の整備

- ア. 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教員の授業力向上
イ. 人権尊重を土台とした特別支援教育・生徒指導に関する学校指導体制の整備
- 重点 4** ウ. 教育の質の向上を保障するチーム学校の確立と教員の働き方改革の推進
- 重点 5** エ. ICTを活用した個別最適・協働的な学びを推進する環境の充実

④ 安全・安心な学校づくり

- ア. 大規模改修による学校施設の整備と安全な教育環境づくり
イ. 防犯・防災・安全教育の充実と体制整備
ウ. 現代的な健康課題への対応

2. 多様性を認め、誰もが活躍できる学校づくり

① こどもが活躍できる場の創出

- ア. 交流活動によるこどもの活躍の場の創出
イ. 地域学校協働活動によるこどもの地域貢献の推進
ウ. 優れた才能や個性を伸ばす教育の推進

② 包摂性を重視した学校教育の充実

- ア. 活躍の場の創出
イ. 障がい児・者への幼少期からの一貫した支援と関係機関の連携強化
ウ. 外国にルーツのある児童生徒への幼少期からの一貫した支援と関係機関の連携強化
エ. ICT等の活用による学び・交流機会の創出

③ 多様なこどもを包括できる学校づくり

- 重点 6** ア. 居心地のよい環境づくり
イ. 多様な学びの場の整備
ウ. 切れ目のない学校間の接続を支援
エ. 多様化する問題対応への学校支援

3. 共育・協育の推進

① 持続可能な地域学校協働本部の体制づくり

- 重点 7** ア. 地域学校協働活動の充実
イ. 市長部局との連携による重層的な地域学校協働活動の推進

② 学校・家庭・地域が一体となった取組の推進

- ア. 学校・家庭・地域が一緒に取り組む「共育活動」等の実施
- 重点 8** イ. 学校運営協議会を核とした学校の課題解決の促進
ウ. 高校生・大学生による学校・地域支援の充実

③ 教育委員会の機能強化

- ア. 市長部局と連携した教育委員会事務局の組織強化
イ. 教育長、教育委員、教育委員会事務局職員の資質・能力向上
ウ. 教育DXの総合的な推進計画の実行

基本目標Ⅱ

地域との協働による、市民みんなが育つ学びの場づくりの推進

1. 市民みんなが学ぶ場の提供

① 施設・設備の整備と有効活用

- 重点 9** ア. 図書館学習交流プラザ「サンライブ」を拠点とした既存公共施設の利活用
イ. 学校施設や既存のスポーツ施設・公園等の充実と有効活用
ウ. 市内の文化財保護と有効活用
エ. 社会教育推進システムの構築と社会教育人材の養成

② 市民のニーズに応じたコンテンツの開発

- 重点 10** ア. 人生100年時代のライフステージに応じた生涯学習・生涯スポーツの機会の創出
イ. 障がいの生涯学習・生涯スポーツの充実
ウ. 新しい課題に対応した生涯学習活動の推進

③ 地域や自主的サークルの活動支援

- ア. 文化・芸術、スポーツ団体への支援
イ. 専門家、指導者、支援者の発掘と人材育成
ウ. 活躍する個人・団体の応援

④ 中央図書館を拠点にした市民の読書習慣の醸成

- ア. 学校図書館教育充実への支援
- 重点 11** イ. 市民の期待に応える中央図書館・サンネット図書コーナー等の充実

2. 学びを表現する場づくり

① 文化・芸術活動の発表の場づくり

- 重点 12** ア. みよし音楽祭・文化展・文化祭・郷土芸能伝承活動発表会等の活性化
イ. 市内公共施設における展示スペースの提供
ウ. 様々な方法による市民への参加のよびかけ

② 「するスポーツ」「観るスポーツ」活動の場づくり

- 重点 13** ア. 市内スポーツイベントの活性化
イ. 一流アスリート競技大会の応援・支援によるまちの活性化

3. みよしを好きになる学びの場の創出

① 郷土の歴史や自然にふれる機会の創出

- ア. 歴史民俗資料館及び市所有文化財について市民が知る機会の創出
イ. 民間団体の活動の周知及び支援

② 郷土のスポーツ、文化・芸術各分野の第一人者の活用

- ア. 近隣大学・企業・NPO法人等との連携による活動
イ. パートナシップ協定を結ぶチーム等の選手との交流
ウ. 市民がカヌーに親しむ場の提供

③ スポーツ、文化・芸術による交流活動の推進

- ア. 土別市・木曾町との交流
イ. 海外との文化交流

④ 体験的ふるさと学習の推進

- 重点 14** ア. ふるさと学習の推進
イ. みよしの食に関する学びの推進
ウ. みよしの環境を守る活動の推進
エ. 地域の人々との学びを通じたみよしを好きになる体験の場の創出

基本目標Ⅲ

人のつながりと学びを通じた家庭づくり・地域づくりの推進

1. 家庭の教育力向上とつながりづくり

① 家庭教育に関する学びの場の提供

- 重点 15** ア. 家庭教育に関する学習機会の充実
イ. 家庭教育に関する情報発信の充実
ウ. 学校・園での保護者による教育・保育体験の場の創出

② 子育てを通じた保護者間のつながりづくり

- ア. 学校・園における保護者同士の交流機会の確保
イ. 地域における保護者同士の交流機会の確保
ウ. 親子が集まる場の提供

③ 家族のつながりづくり

- ア. 親子で行う活動の充実

2. 地域の教育力向上とつながりづくり

① 地域学校協働本部への参加促進と体制強化

- 重点 16** ア. 地域学校協働本部の体制強化と活動周知のための取組の充実
イ. 市関係部局や地域の各団体との連携

② 子育てを通じた地域と学校、学校と家庭、家庭と地域のつながりづくり

- ア. 地域学校協働活動による学校支援・こどもの地域貢献
イ. 地域学校協働活動と従来の子育てに係る団体等の活動の再編
ウ. 地域学校協働活動による中学校部活動・放課後子ども教室等への支援

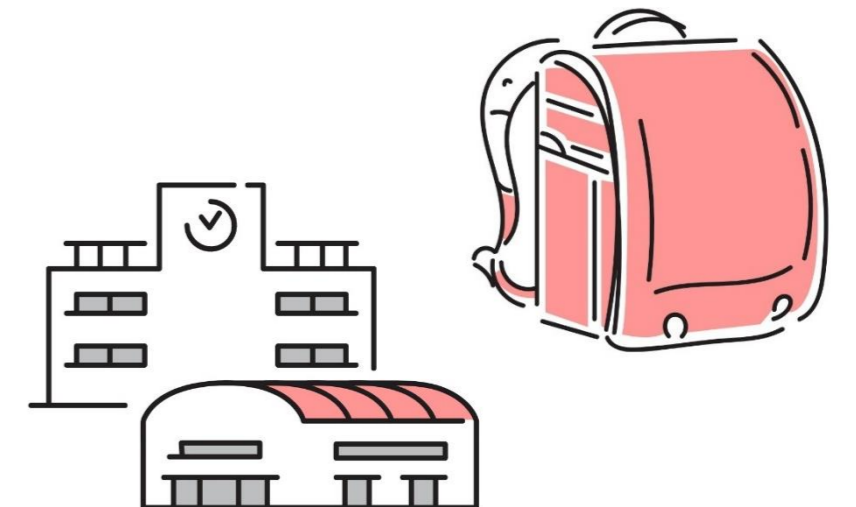
3. 安心して子育てできる環境整備

① 切れ目のない相談支援体制の構築

- ア. 誕生から就学前までの家庭支援
イ. 学齢期の子どもと保護者の支援
ウ. 中学卒業後の子どもと家庭支援
- 重点 17** エ. 0～18歳まで一貫して支援できる体制の構築

② 子育て支援の充実

- ア. 保育環境の整備
イ. 子育て家庭への財政的支援の充実
ウ. ファミリー・サポート・センターでの市民の相互扶助の推進
エ. 児童虐待の防止のための家庭支援
- 重点 18** オ. 放課後のこどもの居場所づくり



3 基本施策

基本目標 I

21世紀をたくましく生き抜く子を目指した、 みんなが育つ共育・協育の推進

基本施策 1 楽しい・行きたくなる「魅力ある学校」づくりの推進

子どもが主役で自身の成長を実感できる教育、自他を大切に、少々のことにへこたれないたくましさやしなやかさを兼ね備えた心と体の育成、これらを実現する指導体制の整備を進めます。



成果指標

	現状 令和6(2024)年	目標 令和12(2030)年
「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に「当てはまる」と回答した児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査【小6・中3】)	小学校: 44.7% 中学校: 40.3%	小学校: 60% 中学校: 60%

基本施策 2 多様性を認め、誰もが活躍できる学校づくり

学習や発達の特性、言語・文化の違い、ジェンダーの多様性など、子どもたちの背景や特性が多様化する社会で、子どもが自他の多様性を認めつつ、自分らしく活躍できるように、包摂性を重視し、どの子どもも活躍できる学校づくりを推進していきます。



成果指標

	現状 令和6(2024)年	目標 令和12(2030)年
自分には、よいところがあると思いますか。(全国学力・学習状況調査【小6・中3】)	小学校 39.6% 中学校 39.1%	小学校 50% 中学校 50%

基本施策 3 共育・協育の推進

「共育(ともいく)・協育(きょういく)」を推進し、学校が抱える諸課題の解決に向けた学校運営協議会の体制整備及び、地域や保護者の協力が継続的に得られるように持続可能な地域学校協働本部の体制づくりを進めるとともに、学校教育や社会教育を包括的に支えることができる教育委員会体制の強化を進めます。



成果指標

	現状 令和6(2024)年	目標 令和12(2030)年
A…学校支援ボランティア活動に参加した人数(学校教育課調べ)		
B…「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか」の質問に「よくある」と回答した児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査【小6・中3】)	A…345人 B…小学校: 19.0% 中学校: 9.8%	A…1,000人 B…小学校: 30.0% 中学校: 30.0%

基本目標 II

地域との協働による、 市民みんなが育つ学びの場づくりの推進

基本施策 1 市民みんなが学ぶ場の提供

人生100年時代において市民が生涯を通じて学び続けられるように、既存の公共施設やスポーツ施設・公園等の整備と活用、ライフステージに応じた生涯学習・生涯スポーツの充実、自主的に活動する地域や団体の支援等を行い、市民に学ぶ場を提供します。



成果指標

	現状 令和6(2024)年	目標 令和12(2030)年
生涯学習講座の受講人数(生涯学習推進課調べ)	(生涯学習) 延べ5,975人	(生涯学習) 延べ6,100人
市民の週1回以上のスポーツ実施率(スポーツ課調べ)	(生涯スポーツ) 20歳未満: 78.5% 20歳以上: 49.7%	(生涯スポーツ) 20歳未満: 80.0% 20歳以上: 70.0%

基本施策 2 学びを表現する場づくり

市民の学びが意欲の向上や他者とのつながりを深めるために、生涯学習で学んできたことを表現したり、生涯スポーツで身に付けたことを発揮する場を創出し、これまでの学びに価値を感じたり、他者と喜びを共有したりできるようにします。



成果指標

	現状 令和6(2024)年	目標 令和12(2030)年
A…文化展・文化祭(芸能発表)への出演者数(生涯学習推進課調べ)	A…文化的行事 291人	A…文化的行事 320人
B…市主催スポーツイベントの参加者数(スポーツ課調べ)	B…スポーツイベント 4,450人	B…スポーツイベント 4,780人

基本施策 3 みよしを好きになる学びの場の創出

みよし市が目指す「みんなで育む笑顔輝くずっと住みたいまち」を実現させるために、市民が仲間と共に、本市の歴史や自然にふれたり学んだりできる機会や姉妹都市との交流活動の機会を創出し、体験的なふるさと学習を推進します。



成果指標

	現状 令和6(2024)年	目標 令和12(2030)年
「住んでいるまち『みよし』のことが好きですか」の質問に、「大好き」と回答した割合(アンケート調べ)	小5 55% 中2 34% 保護者 19% 市民 25%	小5 65% 中2 45% 保護者 30% 市民 35%

基本目標 III

人のつながりと学びを通じた 家庭づくり・地域づくりの推進

基本施策 1 家庭の教育力向上とつながりづくり

子育てを通じた家庭の教育力向上と家庭と地域、学校とのつながりづくりの必要性が高まっているため、保護者が学校教育や家庭教育について学ぶ機会を充実させたり、子育てを通して保護者同士がつながることができる場や機会を設けたりします。



成果指標

	現状 令和6(2024)年	目標 令和12(2030)年
家庭教育学級と思春期子育て講座の参加者数(学校教育課調べ)	延べ 823人	延べ 1,200人

基本施策 2 地域の教育力向上とつながりづくり

地域が子育てや家庭づくりに関与しづらい状況が社会問題化しており、子どもたちや市民が地域やみよしに誇りや愛着をもち、自助・共助の精神の涵養がままならない中、その問題を解決するために、地域学校協働活動を通して地域・家庭・学校が連携し、学校を核とした地域づくりを推進していきます。



成果指標

	現状 令和6(2024)年	目標 令和12(2030)年
学校と家庭・地域との連携を深めている。(市内小・中学校の学校評価より)	教員(小) 28.7 教員(中) 27.5	教員(小) 50.0 教員(中) 50.0

基本施策 3 安心して子育てできる環境整備

核家族世帯の増加にともない、子育ての不安や悩みを共有したり、相談したりする相手がない保護者が増えているため、切れ目のない相談支援体制の整備、経済面や環境面における子育て支援の充実など、安心して子育てできる環境の整備に努めます。



成果指標

	現状 令和6(2024)年	目標 令和12(2030)年
「子育て支援に対する満足度をご回答ください」の質問に「満足」「やや満足」と回答した市民の割合(みよし市行政評価市民アンケート)	30.9%	40%

4 計画の推進あたって

この「みよし教育プラン」を推進するためには、Plan（計画）－Do－（実行）－Check（評価）－Action（改善）という、いわゆるPDCAサイクルを確立し、計画の推進状況を的確に把握することが必要です。

教育の主体となる家庭・地域・学校にはたらきかけ、関係部局が連携を図りながら、総力を挙げてプランの推進に取り組みます。

「Plan」 計画の幅広い周知

本プランは、各関係機関に配布するだけでなく、広報みよしなどを通して市民にも広く伝えることで、幅広い層への浸透を図ります。また、市の教育に重要な役割を果たす学校坂 50 に対しても、さまざまな機会を捉え本プランの実現を促します。

「Do」 計画的なプランの実行

教育委員会をはじめとする市の関係部局が総力を挙げて家庭・地域・学校を支援し、プランを推進します。

特に「重点施策」に位置付けた取組は、毎年の進捗を確認しながら事業を実施していきます。

「Action」 プランの改善

みよし市教育振興基本計画推進委員会や教育委員会の点検・評価で、有識者や市民の代表からいただいた意見をもとに、必要に応じて見直しを加えます。

計画期間の中間年には改訂版を、最終年には次期みよし市教育振興基本計画を策定する予定です。

「Check」 プランの推進状況の把握と評価

本プランを強く推し進めるための重点施策を中心に、取組の進捗状況とその成果の状況を、毎年事務局が取りまとめます。成果の状況については、行政が行う各種調査に加え、5年に一度教育に関する市民アンケートを行い、その結果から把握します。

みよし市教育振興基本計画 みよし教育プラン 2035【概要版】

発行日 令和8(2026)年3月
編集 みよし市教育委員会
学校教育課
愛知県みよし市三好町小坂 50 番地